

## 論文要旨

### 1 序章

研究テーマである「精神障害者のリカバリーを促進する環境に関する考察、一リカバリーのために『学ぶ場』に焦点をあてて」を研究するに至った背景、及び研究目的、研究方法について示すものである。

研究の背景は、長年 P S W として福祉現場での実践の中で痛感していた支援する側と支援される側という現実の壁、そしてそのことが、本当に対象者の自立につながっているのかという問題意識と、諸外国でのリカバリー志向の支援やサービスへの期待である。

よって、研究目的はリカバリーのために関係者が学ぶことの意義とそのための環境（場）づくりのための実践理論と方法を明らかにすることである。

研究方法は、先行研究、資料の検証、イギリスにおける現地調査、情報収集、我が国の障害者相談支援事業所での取組事例の検証、現状分析、そしてイギリスと我が国事業所的事例比較分析による理論と実証、そして P S W の経験に基づく実践により行うものである。

### 2 本論・各章の概要

#### 第一章 精神障害者支援のための施策の歴史の変遷とあらたな実践理論の要点

ここでは、リカバリーイノベーションの要点に留意しながら日本とイギリスの障害者支援の施策の歴史を比較考察しながら、考察を展開して行く。

その構成は

- 1、精神障害者への日本の行政施策について、歴史、及び地域支援に関する実践と理論の歴史の考察と分析、特に「地域生活支援、精神保健福祉の地域生活支援の実践」の変遷に注目する。
- 2 近年の精神保健の概念からリカバリー概念の台頭とそれを促進する要素について歴史、理論の両面から取り上げる。
- 3 イギリスにおける精神医療・保険福祉施策について

福祉先進国イギリスにおける精神医、保険福祉施策の実態を、施設、地域ケア、精神保健福祉の現状を中心にその歴史と現状について考察・分析した。

そこでは、国の施策、財政、社会福祉政策が精神医療・福祉も含み財政改革という政治的枠組みの中で、福祉医療費の削減見直しと「自立支援」という理念と方策への転換、リカバリー志向への転換の道筋があきらかにされるのである。

#### 第二章 イギリスの「リカバリーイノベーション」について

リカバリー志向のメンタルヘルスサービス提供のための取り組みについて、組織改革のためのアプローチ I m R O C、ユーザーの参画、リカバリーカレッジの項目ごとに、その概念、理論、実践資料を紹介し考察をおこなった。